

＜要求の基本的考え方＞

- 教育委員会では、市長と教育委員会で共有する「北九州市教育大綱」（5 月改定予定）の方向性に沿って、子ども一人一人の個性を踏まえながら、市民総ぐるみで、本市の未来を担う子どもたちの心の中にシビックプライドを醸成する取組みを推進します。
- 「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」については、計画期間満了に伴い、本年秋を目途に次期計画の策定を進めます。学校・教職員と教育委員会は互いにコミュニケーションを図り、目標を共有し、一体となって取組みを進めるとともに、家庭、地域、関係部局・機関等と連携しながら各種施策を着実に推進します。
- 新学習指導要領への着実な対応、教育用タブレット端末の整備など、子どもの教育環境の整備を進めるとともに、「学校における業務改善プログラム」を着実に推進し、教員が子どもと向き合う時間の確保に向けた不断の取組みを進めます。

心の育ちの推進・シビックプライドの醸成

優れた芸術や伝統文化など豊かな体験活動を通して、子どもたちの心の育ちを推進します。

いじめ等の問題行動について未然防止、早期発見、早期解決を図ります。

SDGs の視点に立った地域教材資料集の作成等、本市の魅力を学ぶ機会を充実し、シビックプライドを醸成します。

継 心の教育推進事業
新 子どものシビックプライド育成事業
～SDGs の視点に立った地域教材資料集～

要求額 35 百万円



学力・体力の向上

「北九州市学力・体力向上アクションプラン（第 2 ステージ）」に基づいた取組みを着実に実施し、学力・体力の向上を図ります。

北九州市学校応援基金を活用した事業を新たに創設し、学校の主体的なアイデアによる取組みや先導的な取組み等の実施を通して、学校の教育活動の充実を図ります。

継 小学校外国語(英語)教育の充実
拡 学校の読書活動推進事業
新 北九州市学校応援基金事業
継 子どもひまわり学習塾事業

要求額 532 百万円



特別支援教育の充実

特別支援学校の整備など、全市的な視野に立った、特別支援教育の整備を進めます。

外部人材の配置・活用等を進めるとともに、新たに「特別支援教室」を導入するなど、特別支援教育を推進する体制の充実を図ります。

継 小池特別支援学校整備事業
継 小倉総合特別支援学校整備事業
拡 特別支援教育を推進する体制の充実
新 「特別支援教室」設置事業

要求額 1,165 百万円



学校における業務改善の推進

「学校における業務改善プログラム（第 2 版）」に基づく取組みを進め、子どもと向き合う時間の確保や教職員のワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。

スクールソーシャルワーカーなどの専門人材の活用を進め、「チーム学校」の体制を整備し、さまざまな教育課題に適切に対応するとともに、教員の負担軽減を図ります。

拡 学校現場における業務改善事業
継 学校支援のための講師等配置事業
拡 「チーム学校」運営・推進事業
拡 部活動指導員の配置

要求額 1,041 百万円

教育の情報化の推進

児童生徒の情報活用能力の育成、各教科における ICT 活用の促進を図るため、教育用タブレット端末等の計画的な整備など、本市における教育の情報化を推進します。

新 教育用タブレット端末等の整備

要求額 100 百万円



学校施設の整備

安全で安心な教育環境を整備するため、「北九州市学校施設長寿命化計画」に沿って、大規模改修工事などの老朽化対策や安全対策を実施します。

快適な環境で学べるよう、小学校（大規模校）の理科室及び中学校の音楽室にエアコンを設置します。

継 学校施設老朽化対策事業
拡 小中学校等空調整備事業
(特別教室設置分)

要求額 5,788 百万円



※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成 31 年度に実施することが確定しているものではありません。
※ 要求額は、各項目の新規または拡充して取り組む主な事業の合計額です。